

令和元年10月定例教育委員会会議結果報告及び会議録（要点筆記）

日 時：令和元年10月23日（水）13：30～14：45

場 所：古賀市役所 第2庁舎 402会議室

出席委員：長谷川教育長 米倉議長 松本委員 大賀委員 木村委員

欠席委員：小山委員

事務局：青谷教育部長 簗原教育総務課長 浦邊学校教育課長兼主任指導主事 中村生涯学習推進課長 桐原青少年育成課長 柴田文化課長 辻学校給食センター所長 伊丹学校教育課指導主事 教育総務課庶務係（松尾、松本）

傍聴者：0名

付議事項：

1. 開会
2. 教育長あいさつ
3. 諸報告
 - (1) 教育長報告
 - (2) 教育委員情報交流
 - ・中学校の制服見直しについて
 - (3) 教育委員会報告
 - ・スポーツ推進委員の委嘱について
4. 議案 なし
5. 協議事項 なし
6. その他事項
 - (1) 各課（所属）等報告
 - (2) その他
7. 閉会

会議内容：以下のとおり

1. 開会
13時30分、議長が開会を宣言。
2. 教育長あいさつ
3. 諸報告
 - (1) 教育長報告
 - ・中学校での合唱コンクールへの参加ありがとうございました。フェスタも参加できる方はよろしくお願ひします。
 - (2) 教育委員情報交流
米倉議長 教育委員情報交流のテーマは、中学校の制服見直しについてです。
教育長 多様な制服の選択については、糟屋区では篠栗中学校と須恵東中学校が行っています。福岡市でも始まります。制服は学校、保護者、生徒の意見を踏まえて決めるべきものと考えています。校長会では2年前くらいから考えておかないといけないということと言

っておりました。古賀市内で動きがあるのは、古賀東中、古賀北中です。古賀東中は学校創立30周年で特別な行事はしないが、制服を見直し、ブレザーにしていくようです。私が校長でいる時にも生徒に聞いていたのですが、古賀東中は全校生徒が距離に関係なく自転車通学です。男子はそうでもないのだが、女子は冬は寒いとか、自転車に乗りにくいということだった。中学校の女子生徒は制服の下に体操服の短パンをはいています。そういうこともあり、ズボンもあっていいのかなという思いはありました。そのあと、LGBTの問題等が出てきて、古賀東中のPTCAと学校で進んでいるようです。古賀北中も古賀東中の情報を聞いて考えているようです。古賀北中は既にブレザーなので移行はやりやすく、今あるものに男女どちらも着ることができるものを加えるということを考えています。古賀中はPTCAの役員さんと話しているということです。私の原点はLGBTのことが問題になったからということではなく、その前に人権教育が重要だと思っています。多様な社会生活が送れるようにしていくために、男とか女とかだけの世界ではないということをしっかり学習して制服を決めていくことが大事だと考えています。古賀市ではいのちのノートで発達段階に応じた人権教育を行っています。その素地があるから、早めに取り組めるということは自負しております。今回、ラグビーワールドカップで私が勉強になったのは、テレビキャスターが言っていたのだが、今後、性の問題も含めて、ラグビー型社会を作っていくのが日本の課題だと言っていたんです。ONETEAMということ。外国の人が来ても、男性でも女性でも、性の多様性でいろいろなタイプの人、大人も子どもも、若い人も年配の人。ラグビーを見ていたらまさに社会の縮図で、フィールドに出ている選手の国籍もさまざま。性だけではなく、いろいろな多様性、人種民族を含めた、多様な社会に対応できるラグビー型社会をめざさなければならないと言っていたのが非常に印象的でした。校長会でも話すつもりです。学校の中でも外国籍の子どももいれば、性の問題で悩んでいる子どももいれば、父子家庭、母子家庭、いろいろな子がいる。その中でどういうふうにそれぞれの学校の文化を築いていくのか。今日は制服を中心とする性の多様性についてご意見いただければ校長会にも伝えていければと考えています。

米倉議長 今日制服をメインに性の多様性も含めて話していきたいと思います。

松本委員 夏は暑いからセーラー服やジャンパースカートだと暑いだろうと思います。冬はジャージを下に着ている。かえってその方が見た目はよくない。今の時代を考えると多様化した方がいいと思います。

大賀委員 私も選択肢が増えることはいいことだと思います。心の問題がある子も選択肢が増えることによって、我慢して学校に行けなくなるということが少なくなるというのではないかと思いますし、小学校では女の子は割とズボンをはいていく子が多いが、中学校に入ると同時にスカートと決められる。そういうところも変えていく必要があるのではないかと思います。

木村委員 私も賛成です。女の子でもズボンをはきたい子がいたり、男の子でも女の子っぽくしたい子もいるかもしれないので、できたら自分が着たい制服を選べたらいいと思います。体型があるから似合う似合わないがあるということと、一回買うと買い替えが難しい、

値段が高いので。そこは気になるころではありますが、自分が着たい服を選べるのはいいなと思います。

教育長 校長会では極論ですが私服でもいいのではないかという問題提起をしました。毎日できなければ毎週金曜日だけとか、前期と後期に1日だけするとか。そういう思い切ったことを校長としてはやってもいいのではないかということを行いました。

松本委員 制服は高いですもんね。スカートとスラックスの両方を持ちたいと考えます。教育長 校長に言っているのは新一年生からが基本だが、移行期間で3年間くらいは兄弟からのおさがりを着ても問題がないようにしてほしいということは言っています。何年か経てばリユースが出てきます。

松本委員 夏は暑いから、夏だけでもジャージとTシャツでいいとかできないでしょうかね。大賀委員 体操服を下に着て、スカートがまとわりついて面倒くさいからまくり上げて歩いている子もいる。

教育長 北中は半ズボンがあります。見られましたか。

大賀委員 それは見ていないです。

教育長 組み合わせでいろいろできるようにした方がいいとは言っています。体は男の子だけでも気持ちが女の子だったり、体は女の子だけど気持ちは男の子だったり。そうしたい子がその制服を選ぶと周りから変な目で見られるのではないか、自分の居場所がなくなるのではないか。先ほど言った大前提として人権教育が大事だということです。大部分の人はスカート、大部分の人はズボン。その中にたったひとりいてもみんな違っていい、という解釈でいかないといけない。北中はズボンと短パンがあったと思います。小学校の給食訪問で私なりに確認できたんですが、スカートをはかないと言っていた児童がいました。給食を食べながらいろいろ聞くのですが、制服のこと、トイレの洋式化のこと。素直な意見が聞けます。価格も今買う制服の金額を上回ることはありません。学校はそれを一番気にします。今年度購入した金額を上回ることはないと思います。

米倉委員 流れとしてはいい方向に流れているのかなと思います。

木村委員 ネットで制服についての考えを見ていたら、学校はなぜスカートの長さやリボンの結び方にうるさいんだろう。学校がなぜ厳しく取り締まるんだろうということが出ていて、制服を学校が決めているということについて抵抗感があるとか、決まりについてもですね、そんなイメージがしました。先ほどPTCAや子どもたちの意見を聞いて、と教育長がおっしゃっていたが、できるだけみんなの意見を聞いて、みんなの合意の上である程度広く枠組みを作って決めておいた方が、後々学校が決めたということと言われないのではないかと思います。

教育長 PTCAの本会の運営委員さん、古賀東中でいえば運営委員会、そういうところが保護者の代表の意見です。子どもも生徒会役員の意見が中心となります。学校が一番考えるのは価格、保護者負担をどれだけ軽減できるか。学校文化を変えない限り制服はなくなる。私が古賀東中にいる時に、男子は夏はカッターとズボンで、上着を出して着るんですね。上着をズボンの中に入れるよう、たびたび指導しました。多くの子どもは中にいれると動きにくいとか暑いとか言っていました。だから、上着を出すタイプの制服

に変えました。そうすると、高校訪問が9月にありますが、生徒からよその生徒はみんな上着を中に入れているのに東中の生徒だけ出していたら悪そうに思われるのではないかという話がありました。私服の話もしましたが、高校側が入試の時にどう見るかということです。6年生に聞いても私服がいい子と制服がいい子がいる。今でも毎日私服を考えている、毎日同じものを着ていると思われまいよにとか、友達はおしゃれなものを着ているからとか。心の中は見えないけど外見は見えるから、だらしない格好をしていたら地域の人からもいろいろ言われます。本当は中身が問題だから、私服であろうと髪の毛が少し赤かろうと本当はどうでもいいことなのだが、世の中はそうは見てくれない。欧米の文化と日本の文化も違います。最近では日本の制服の良さを東南アジアの国はモデルにしています。イギリスも制服が増えています。日本が40人の大人数でこれだけ教育力を高めているのは日本に学ばなければいけないということのようです。費用対効果が非常にいいのではないかということです。話がずれましたが、性の多様性に見合った時代にいよいよなってきたので、選べる制服にしていくということが出てきていて、市内でも3校中2校が考えているということです。

米倉委員 市内でも選べる制服の形に変わりつつある、流れがあるということです。

(3) 教育委員会報告

米倉議長 スポーツ推進委員の委嘱について、報告をお願いします。

生涯学習推進課長 令和元年度スポーツ推進委員の委嘱について報告します。新たに9月1日から村松さんに新たに委嘱しております。任期2年間です。これにより総数18名のスポーツ推進員で活動していきます。

4. 議案 なし

5. 協議事項 なし

6. その他事項

(1) 各課(所属)報告

ア、教育部長

・令和2年度学校予算編成について報告します。学校への説明会でも説明しておりますが、本市の財政状況についてはたいへん厳しい状況にあるなか、すべての小中学校における35人以下学級や人的配置は継続して予算確保に努めていきたいと考えています。特に本年度は小中学校普通教室の空調設備整備工事を実施しており3月には完成の見込みです。空調の効率的な運営や、約1.5倍に増えると見込まれる電気代の節電対策にどのように取り組むのが今後重要になってきます。また、新学習指導要領を見据えてICTを活用した教育環境整備が必要となってきます。児童生徒が学びやすい環境整備に取り組んでいくことになってきますが、そのためには多くの財源が必要となってきます。限られた予算で対応していかなければならないということなので、支出が増える分スクラッ

プしていかなければならない。ビルドアンドスクラップを十分に念頭に置いたうえで、各小中学校においても予算については精査してもらいたいと伝えております。

イ、教育総務課

- ・平成31年度学校施設整備の主たる工事について。今年度、予定しておりました委託・工事は、空調設備設置工事関係と表の一番下の北中のプール棟防水改修工事を除いてすべて完了しております。空調設備整備工事につきましては、夏休み期間に主たる工事を行う8校については室内機の設置、配管等は、ほぼ完了しております。花見小多目的ホール改修工事につきましては、夏休みに完了し、夏休み期間以降、主に土日祝を利用して工事を行う3校につきましては、室内機の配管工事を行っているところです。追加した音楽室、図工（美術）室の整備につきましては、11月から本格的に工事に入ることとなります。全体的な進捗率は概ね60%であり、今後冬休みに停電作業、キュービクル関係の工事を行い、3月の完成へ向け努力しているところです。北中のプール棟防水改修工事につきましては、年内の工事着手、完成に向け準備を進めております。平成31年度学校施設整備の主たる工事については以上です。
- ・学校施設の台風19号の被害について報告します。今回の台風においては、全体的に大きな被害はありませんでした。

ウ、学校教育課

- ・いじめ不登校状況について。各学校にて指導し、解消後経過観察をしております。
- ・児童生徒の登下校にかかわる事件事故について、10月中は発生しておりません。
- ・教職員の研修状況について。11月から英語力向上の小学校研修が始まります。来年度の英語科実施に向けそれぞれの先生が自信を持って指導ができるよう研修を進めてまいります。プログラミング教育についても研修を実施していきます。
- ・中体連総合体育大会吹奏楽コンクールの結果は記載のとおりです。部休日等や朝練をしない中で時間を有効に使うことを意識し成果を上げています。
- ・9月25日古賀東小学校爆破予告事件について報告します。その後、学校がPTCAと連携し登下校の見守り活動を行っております。

松本委員 不登校の増加が気になるが対策はされていますか。

学校教育課長 新規の不登校がでないように、状況改善に向けての指導をしてもらうよう話しております。

松本委員 小学校が増えているのが気になります。

学校教育課長 小学校はスーパーバイザーとの面談によると、発達的な課題の部分で集団になじめないなどがあるとのこと。幼保との連携や年齢に応じた社会性を作り上げていくことが必要と意見をいただいています。

松本委員 幼保との連携は、入学前にしているのですか。

学校教育課長 連絡会はしております。

松本委員 そういう部分の徹底をお願いしたいと思います。

米倉議長 指導上でのトラブルとか、フォローができていないということはないですか。

学校教育課長 指導が原因で不登校状況になっているというものは報告ではあがっていません。9月は夏休み明けで生活のリズムを学校のリズムに戻しきれていない子もいます。増えないようには対応していきたいと思います。

大賀委員 不登校の子どもたちに対し、あすなろに行っている子が少ないと思うがあすなろ教室には行っていないけれど、他の児童館なり保健室へは行っているのですか。

学校教育課長 保健室や学校内の適応指導教室へ参加したり、学校は対応しています。

エ、生涯学習推進課

- ・9月20日から開幕した、ラグビーワールドカップの日本戦について、パブリックビューイングを5回を行いました。5回で1,610名という多くの方に来ていただきました。福岡市内のパブリックビューイングを4回見て、最後はぜひ古賀市でという方もお見えになり、心温まる手作りのパブリックビューイングに感動したという声もたくさんいただきました。
- ・10月中旬、ルーマニア柔道ナショナルチームが古賀市福津市に来られます。今回は市民との交流を持つ時間も持てそうなので詳細が決まりましたらお知らせします。

オ、文化課

- ・図書館要覧を配布しております。
- ・今週末、25日から27日まで、図書館まつりを開催します。11月2日にはビブリオバトルを開催します。
- ・船原古墳について、11月中旬からサンリブ古賀店でパネル展示をします。11月17日まつり古賀でもブースを出します。同日は県民文化祭が宗像ユリックスで開催されません。古賀市から2団体が出場します。

カ、青少年育成課

- ・通学合宿の事業報告です。10月8日から11日までの3泊4日で、花鶴小校区の通学合宿が実施されました。12名の参加で大変にぎわっておりました。第1回目ということでしたが、力丸前課長が中心となり、花鶴校区での通学合宿を再開していただき大変有意義に終わりました。最後の作文発表では子どもたちが涙ながらに体験活動の様子を報告し、地域の方と一体となった通学合宿を実施することができました。これまで青柳、古賀西、花鶴の通学合宿が終わり、次は10月26日から11月2日までの間で、小野小校区の通学合宿が実施されます。7泊8日で行われ、現在参加者は5名ということです。
- ・10月22日、ふくおか児童館フェスティバルについて報告します。今年から福岡市児童館フェスティバルに古賀市も参加させていただき、福岡天神大丸パサージュ広場において啓発活動と古賀キッズプラスの演奏会を実施しました。県内外の方々に広く古賀市の青少年育成事業と子育て支援事業をお伝えすることができました。

キ、給食センター

- ・ルーマニア柔道選手団が11月のグランドスラム大阪大会へ来日されることに併せて、ルーマニア料理を11月20日に提供することとしております。放送原稿も大会のことを交えて子どもたちに周知する予定としております。

(2) その他

教育総務課長 (行事予定表の説明)

庶務係長 (1月定例教育委員会の日程調整)

米倉議長 1月定例教育委員会は1月22日13時30分からとします。

7. 閉会

議長が閉会を宣言し、14時45分閉会した。